

カーボンニュートラル取組目標

2050年国の目標であるカーボンニュートラルに向けて当社が責任をもって取組み実施する内容について策定する。

記

1. 取組目標

当社は2050年カーボンニュートラルを達成するため以下の段階的目標を設定する。当初2030年までに2013年比CO2排出量を▲50%を目標としたが2022年度までに達成見込みの為、目標を再設定する。

1. 2030年までに2013年比CO2排出量を▲60%達成する目標を再設定。
2. 2040年までに2013年比CO2排出量を▲70%達成する目標を設定。
3. 2047年までにカーボンニュートラルを目指す。

2. 実施事項

1. ～2030年の内容

- ①既存設備、建物の省エネルギーへの取組み
 - ・建物の外部からの冷熱対応
 - 遮熱・保温対策の実施によるエアコン稼働の低減
 - 窓の日射対策（工場・事務棟）
 - 熱巡回の効率向上
 - ・設備負荷の低減
 - 低エネルギー稼働対策
 - 稼働ロスの低減対策

- ②太陽光発電電力の無駄のない活用
- ③金型輸送効率の改善
- ④事業活動による化石燃料消費の削減
- ⑤設備稼働体制の見直し

2. ～2040年の内容

- ①2040年時点での新技術の積極的な採用
 - ・最新設備の導入見直し（新設設備導入時は従来機の▲35%を目途とする）
 - ・先端技術の導入による事業対応の見直し
- ②2020年代初期投資設備の最適化見直し（新設設備導入時は従来機の▲20%を目途とする）
- ③外部廃棄物の低減（廃棄物の低減と活用方法の実現化）
- ④社用車のEV,FCVへの変更（再生可能エネルギーによる発電を活用）

3. ～2045年の内容

- ①化石燃料発電電量を再生可能エネルギー発電に切り替え

以上の内容を今後5年毎に見直し、前倒して実行可能な努力を会社として最優先に考え取組を実施する。また、SDGsの活動を含めて地域の環境に貢献をすることを、取組の中に入れて実施する。

以上